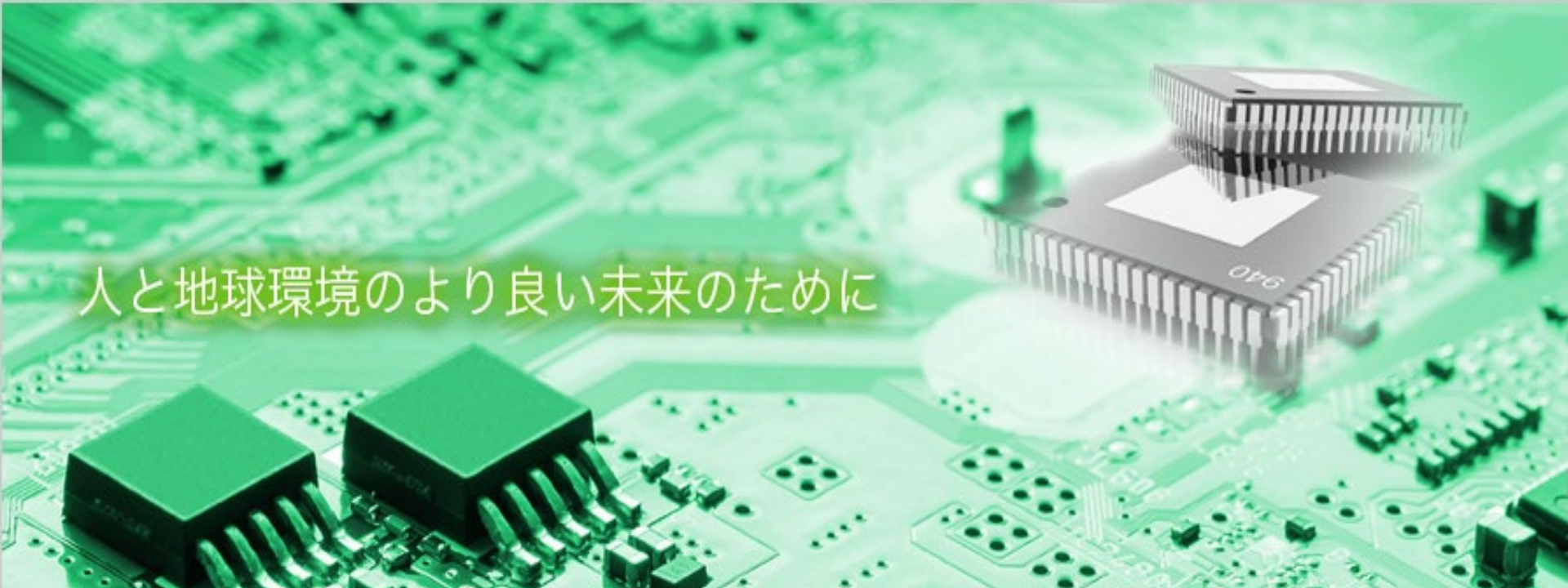
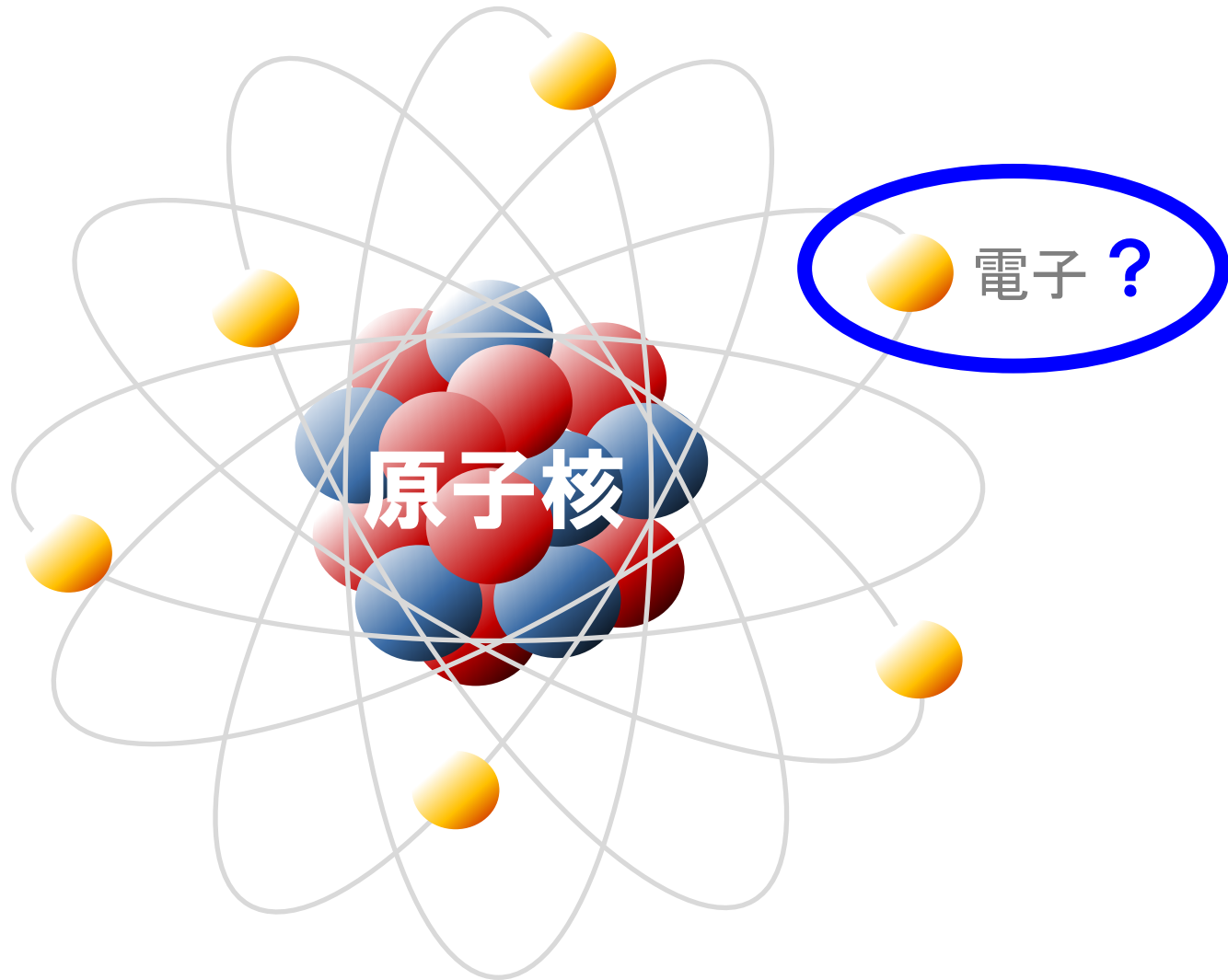




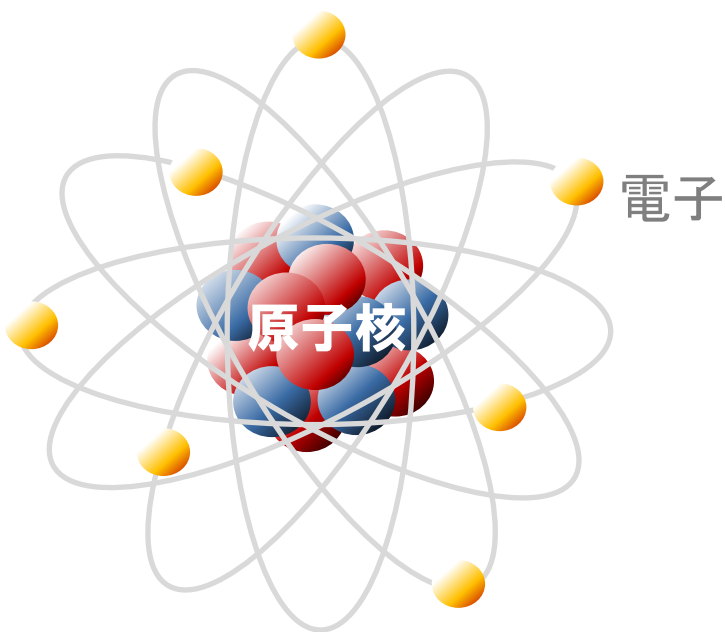
人と地球環境のより良い未来のために

電子システム工学課程

電子システム工学課程とは？



電子の質量、電荷、大きさは？



質量

電子の質量 m_e は

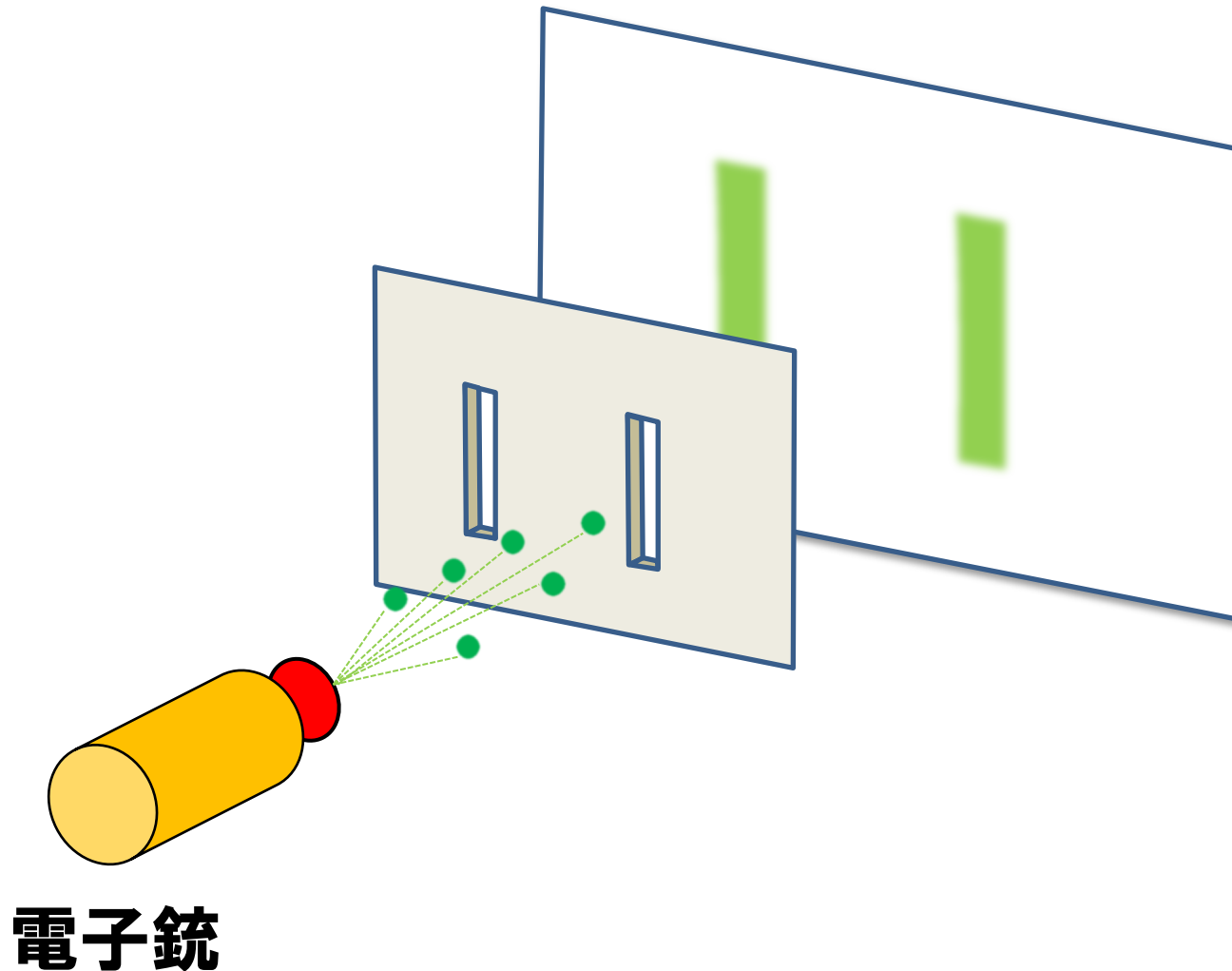
$$m_e = 9.11 \times 10^{-31} \text{ [kg]}$$

電荷(電気量)

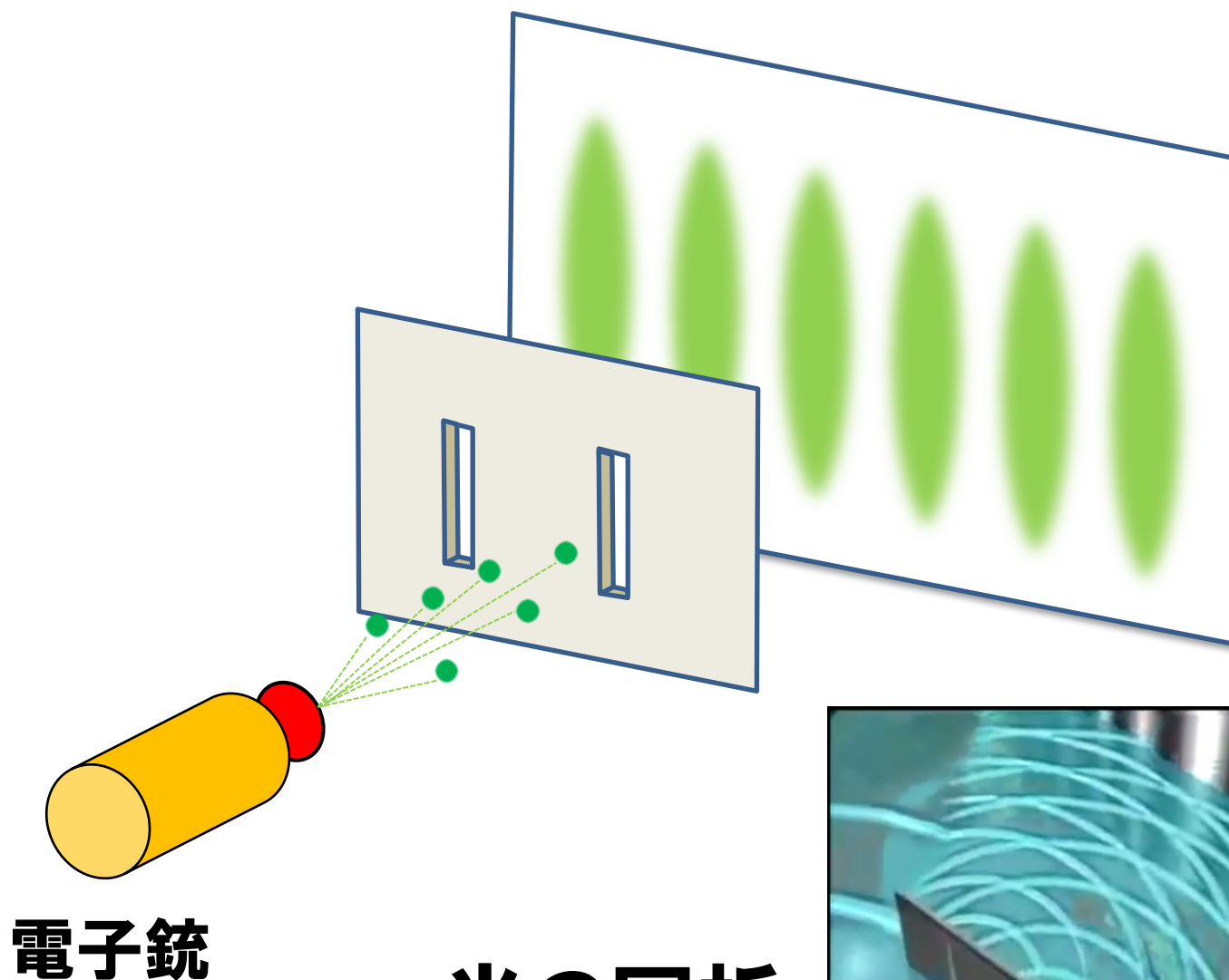
電子の電荷は符号が負で
大きさは電気素量に等しい。
値は $e = 1.602 \times 10^{-19} \text{ [C]}$

約100年前に測定された

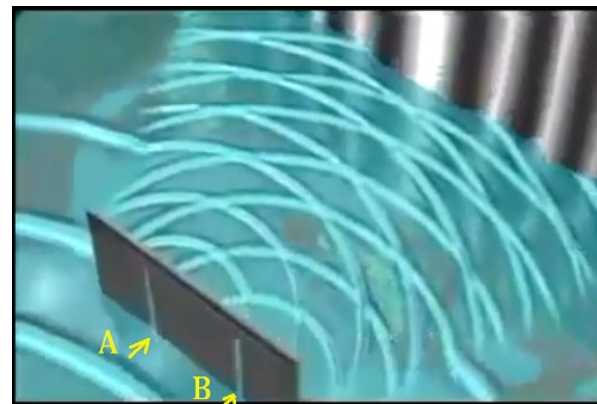
電子の粒子性と波動性



電子の粒子性と波動性



光の回折



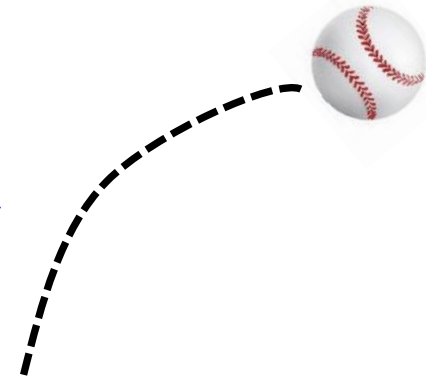
電子の挙動は量子力学で学ぶ



運動方程式

$$F = m a$$

マクロな世界の物理法則



波動方程式

$$i\hbar \frac{\partial \Psi(x, t)}{\partial t} = H\Psi(x, t)$$

ミクロな世界の物理法則



電子で何ができる？

少数の電子

少数の電子は情報の
処理、蓄積、伝達
を担えます



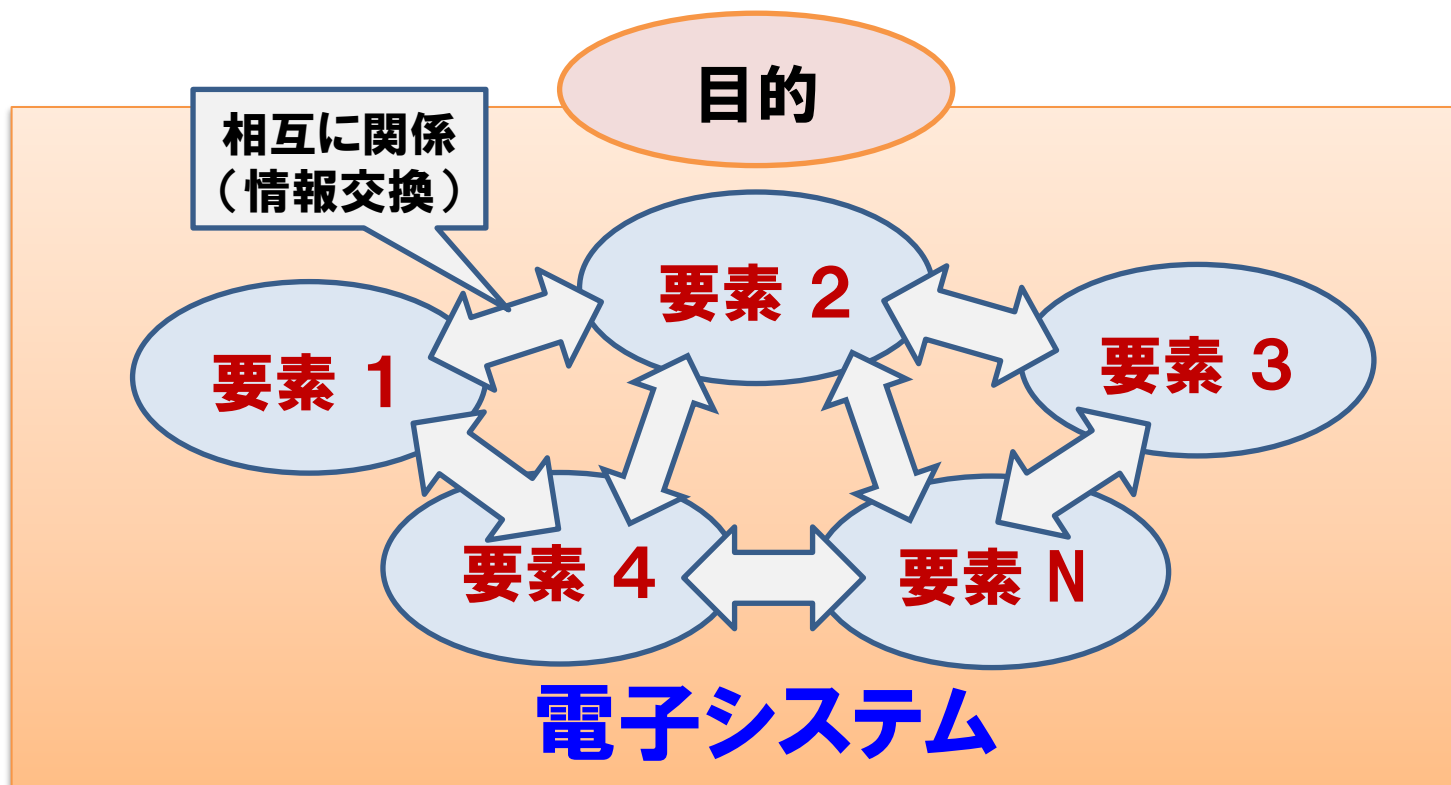
多数の電子

多数の電子は
エネルギーをつくり、
蓄積し、運びます



電子システム工学課程とは？

- ◆特定の目的(機能)をもち
 - ◆構成要素で成り立ち
 - ◆相互につながり(情報の流れ)目的を果たす
- System (系)



電子システム工学課程の専門科目

電子回路工学

集積回路工学

半導体工学

プラズマ工学

電磁波工学

通信工学

センサ工学

無線回路

信号処理

CCD/CMOSセンサ

光電子工学

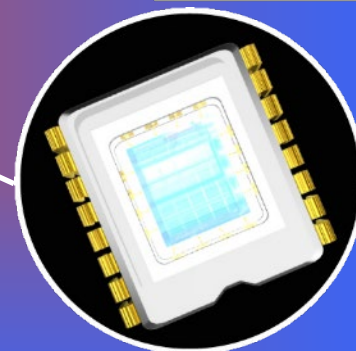
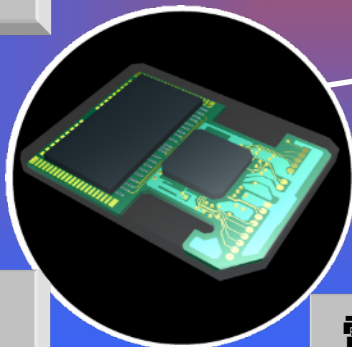
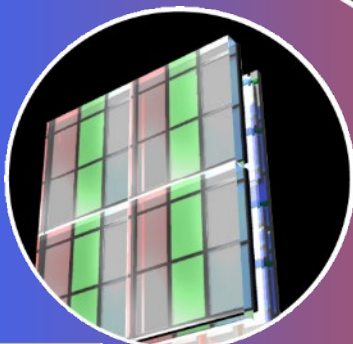
制御工学

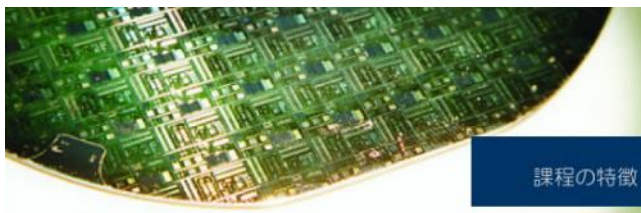
電子物性工学

電子回路

液晶ディスプレイ

メモリーカード





電子システム工学課程の教育目標

**電子, 電気, 通信, 計測, 制御に関する
知識と技術について**

**理論と実践両面からバランス良く修得し
社会を支える基幹産業で活躍**

できる人材の育成

電子システム工学課程の教育プログラム

- 電磁気学, 電気回路, 物理学, 数学などの基礎科目に重点
- 専門科目(デバイス, エレクトロニクス, フォトニクス, 通信, エネルギー, 制御, プログラミング)の基礎から応用まで, 系統的に修得できるよう
- 講義, 演習および学生実験が密接に関連
- 知識の実践のために, 1年にわたる**卒業研究**

電子システム課程 専門科目

大学院進学・就職

集積システム
高周波通信工学
先進電磁波動工学

光エレクトロニクス
光エンジニアリング/集積フォトニクス
光エンジニアリング/画像フォトニクス

電子デバイス工学
半導体工学
機能性材料工学

電子物性工学
ナノ構造科学
プラズマ基礎工学
量子物性理論

卒業研究(4年次)

電気・電子回路系

電気回路, 回路解析,
論理設計, デジタル電子回路,
アナログ電子回路,
集積回路工学,
パワーエレクトロニクス

電磁気学・光電磁波系

電磁気学I, II, III, フォトニクス,
光学基礎, プラズマ工学,
電磁波工学

情報通信・システム系

情報理論,
デジタル信号処理,
アナログ電子回路,
制御工学, 通信システム工学

材料物性・デバイス系

電子物性基礎論, センサ工学,
電子材料工学,
電子デバイス

学生実験系

物理学実験法及び基礎実験, 電子システム工学基礎実験,
電子システム工学実験及び設計I, II

プログラミング・データサイエンス系

情報・データリテラシー, プログラミング演習,
AI・データサイエンスI, II

物理学

力学, 量子力学, 統計力学 など

数学

解析学, 線型代数学, 統計数理 など

スタート(入学)

進路について

大学院への進学

- 卒業生の大半(約50名)は、修士課程(2年)に
 - 就職の幅も広がる
- 工学系の大学は修士課程への進学を前提
 - 3x3コース:
 - 3回生の最後(3月末)に推薦資格試験を実施して、4回生を修士0回生(M0)として、卒業研究を充実
 - 従来通りの8月入試も実施
- 電子システム工学専攻博士後期課程(3年)を独立して設置
 - 修士との一貫教育研究で博士号取得が可能に
 - 博士号取得者は研究者・教育者として活躍

最近の就職状況

令和7年度卒業生・修了生就職先

- **学部卒:** 藤堂製作所, トヨタ自動車, ニチギワールド, プレサンス住販, マツダ, モリタ製作所, YKK AP 他
- **修士課程修了:** アクセンチュア, アルトナー, アルプス技研, オムロン ソーシャルソリューションズ, 関西電力, GSユアサ, 島津製作所, SCREENグラフィックソリューションズ, 住友電気工業, 積水化学工業, ソシオネクスト, ソニーセミコンダクタソリューションズ, ダイキン工業, 東京エレクトロン, 東芝エネルギーシステムズ, トヨタ自動車, パーソルクロステクノロジー, パナソニックコネクト, 日立ソリューションズ, フリュー, 古河電気工業, 三菱重工業, 三菱電機, 村田製作所, モリタ製作所, ヤンマーホールディングス, ルネサスエレクトロニクス, ローム 他
- **博士課程修了※:** NTT, 大阪大学, 京セラ, 京都工芸繊維大学, 京都大学, サムコ, SCREENセミコンダクターソリューションズ, SCREENホールディングス, 東京大学, 村田製作所 他

※令和5～7年度の修了生

入試について

令和9年度入試(令和8年度実施) 募集人員

設計工学域 電子システム工学課程

(募集人員 61名)

【ダビンチ入試】

一般プログラム

一般：5

グローバル：1

地域創生Tech Program

一般、地域：合わせて2

社会人：若干名

【学校推薦型選抜】

一般プログラム：18

地域創生Tech Program：1

【一般選抜】

一般プログラム

前期日程：34

地域創生Tech Program

前期日程：若干名

【特別入試】

私費外国人：若干名

令和9年度入試(令和8年度実施) 入試科目(ダビンチ入試)

第1次選考

- ・ 出願書類(志望理由書と調査書等)
- ・ 講義・レポート作成
- ・ 一般プログラム

一般: **課題提示・レポート作成**

グローバル: **IBスコア等の出願書類での評価**

地域創生Tech Program(一般・地域・社会人)

地域課題レポート

最終選考

面接・口頭試問

令和9年度入試科目(一般選抜)

大学入学共通テスト(475)

国 100:国語
 地歴 50:「地総, 地探」、「歴総, 日探」、
 公民 「歴総, 世探」、「公, 倫」、
 「公, 政・経」、「地総／歴総／公」
 から1
 数 100:「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」
 理 100:物理と「化、生、地から1」
 外 100:英、独、仏、中、韓から1
 情報 25:情報Ⅰ

教科・科目に係る個別テスト等(2次試験)(700)

数 300:数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B、数C
 理 200:物理基礎、物理
 外 200:英語コミュニケーションⅠ, Ⅱ, Ⅲ
 論理・表現Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ

共通テストと2次試験の合計1175

【令和8年度入試結果】(前期日程)

共通テスト 最低点	2次試験 最低点	総点 最低点
270	383	714
56.8%	54.7%	60.8%

令和8年度入試結果

入試選抜方法			募集 人員	志願 者数	志願 倍率	受験 者数	受験 倍率	合格 者数	実質 倍率	入学 者数
ダ ビ ン チ	一般	一般	5	15	3.0	15	3.0	6	2.5	6
		グローバル	1	1	1.0	1	1.0	0	-	-
	地域	一般	2	0	-	-	-	-	-	-
		地域		0	-	-	-	-	-	-
学校推薦		一般	18	35	1.9	35	1.9	16	2.2	16
		地域	※3	0	-	0	-	-	-	-
一般選抜		前期	34	143	4.2	129	3.8	42	3.1	42

※学校推薦型選抜＜地域＞の募集人員にはダビンチ入試＜地域＞の欠員3名が含まれる

実質倍率 の推移

入試選抜方法		R06	R07	R08
ダビンチ	一般プログラム（一般）	4.3	2.2	2.5
学校推薦	一般プログラム	2.8	2.3	2.2
一般選抜	前期日程	2.6	3.2	3.1

電子システム工学課程の 教員について

研究室・教員一覧

研究室名	教員名	研究室名	教員名
半導体工学	西中 浩之 鐘ヶ江 一孝	先進電磁波動工学	上田 哲也 田村 安彦 黒澤 裕之
電子物性工学	高橋 和生	高周波通信工学	島崎 仁司
光エレクトロニクス	山下 兼一 高橋 駿 岡田 大地	電子デバイス工学	山下 馨 Carl F. Werner
光エンジニアリング/ 集積フォトンクス	井上 純一	プラズマ基礎工学	三瓶 明希夫
光エンジニアリング/ 画像フォトンクス	栗辻 安浩		
集積システム	小林 和淑 高井 伸和 新谷 道広 高山 創	機能性材料工学	今田 早紀
		ナノ構造科学	蓮池 紀幸 西尾 弘司
		量子物性理論	三浦 良雄

研究室見学, 課程紹介・質疑応答, 個別質問 担当教員